



日本医師会より表彰されました。

この度、青山病院理事長 青山喬医師が日本医師会より地域医療体制の構築に貢献した全国20名の功労者の一人として最高優功賞を受賞しました。
これも偏に患者様、患者ご家族様のご理解の賜物と心より御礼申し上げます。
今後も地域医療の発展に誠心誠意尽力して参りたいと存じますので変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

褥瘡対策の院内研修会を開催しました 褥瘡対策委員会 看護師長 住本順子

今回も医師会病院の皮膚・排泄ケア認定看護師の岡野純子さんを講師に迎え、「継続した褥瘡予防（ポジショニング）」というテーマで講演して頂きました。
ポジショニングの目的は、「快適で安定した姿勢や活動しやすい姿勢を提供する」事にあり、主に①褥瘡の予防②摂食・嚥下機能の維持、促進 ③安楽でリラックスした姿勢の提供 ④呼吸・循環機能の維持、促進 ⑤筋緊張の緩和と関節の変形拘縮の防止へと繋がっています。
今回は参加者全員でポジショニングの研修を行い、点ではなく面で支えるクッションの当て方や介助グローブを使つての背抜きの方法を、患者やスタッフになって体験しました。
ポイントは ①頭側から足へ介入する ②点ではなく面で支える ③全体の姿勢の並び（アライメント）を足元からみて整える ④クッションの挿入の深さを考えると言う事を実体験を通して学びました。
研修ではありましたが、参加者は楽しんで体験できたようです。
褥瘡発生のズレに対して関心が深まり褥瘡に繋がらない事を期待しています。



交響曲第9番
年末と言えば、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。ウィーンで初演されて以来、プロアマ問わず、演奏や歌、聴衆まで、これほど多くの人に親しまれている作品はほかにないと思います。副題の元となった第4楽章は独唱および合唱を伴って演奏され、歌詞にはシラーの詩『歓喜に寄す』が用いられています。
この交響曲は第4楽章の「歓喜の歌」が有名ですが、その前に演奏されるドラマティックな第1楽章、神々を思わせる第2楽章、世界の調和を主題とした第3楽章、そして何と第1楽章の第3楽章までを軽く否定し、「違う！この音楽ではない、もっと心地よい歌を歌おう」と始まるのが第4楽章「歓喜の歌」というわけです。「歓喜」の主題は欧州評議会において「欧州の歌」として採択されているほか、コンポ共和国の暫定国歌としても制定されているそうです。
年末に「第九」が演奏されるきっかけはドイツの名門オーケストラ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団が、毎年の大晦日に「第九」を演奏し続けてきた事にあるようで、一説には「第九」を演奏すると観客が多く集まり、楽団員の年越し給金を調達しやすかったからだとか。ところで、ベートーヴェンが交響曲第9番で人生を終えたことに関連した「第九番を完成したら他界する」という噂話が流布し、「ドヴォルザークも第9番で生涯を終えた事が重なって、マーラーは本気でこの噂を怖がり、第8番の次の交響曲「大地の歌」は番号無しで発表したそうです。元号改元など慌しかった今年もあともう少し、今年の年末は一年を振り返り、じっくりと交響曲第9番に耳を傾けてみては如何でしょうか。



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医

月曜日	午前：青山	午後：宮里	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：宮里	午後：大村	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：大村	午後：細川・森本 (腎臓内科)	土曜日	午後：石橋(脳神経内科)	午前：内科(交代制)

季節の風景



ああ、暮れてゆく